

# 各部署紹介

各部署が専門性を発揮し、  
患者様へ心のこもった看護を提供しています

外来  
中材  
手術室

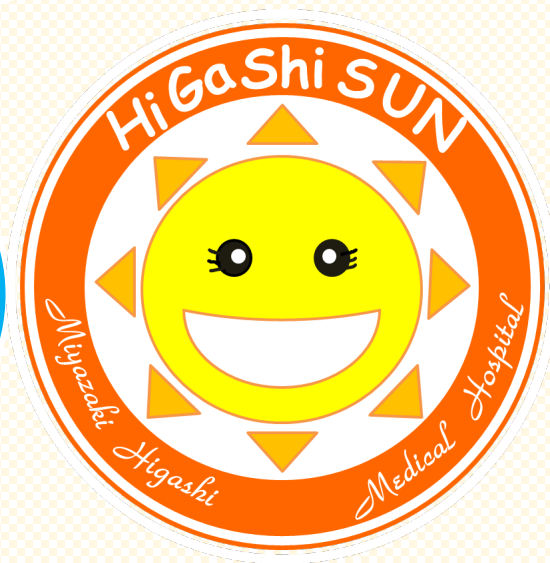
1階  
児童精神科

5階  
呼吸器外科  
腫瘍内科  
小児科  
整形外科

2階  
呼吸器内科  
内科  
感染症

4階  
療養介護

3階  
神経難病



# 1階病棟

患者様とご家族との関わりを大切に  
心のケアを行います。

病床数30床の1階病棟は、児童精神科病棟になります。  
医師・看護師を中心とし、精神保健福祉士や心理療法士も在籍  
しており、多くの医療スタッフが連携して患者様に向き合いな  
がら、家庭・福祉・教育・保健とともに、困り感のある子ども  
達を「抱え」「治療」し、「育てる」環境を提供します。

## アニマルセラピーや作業療法



## 作業療法で作った作品

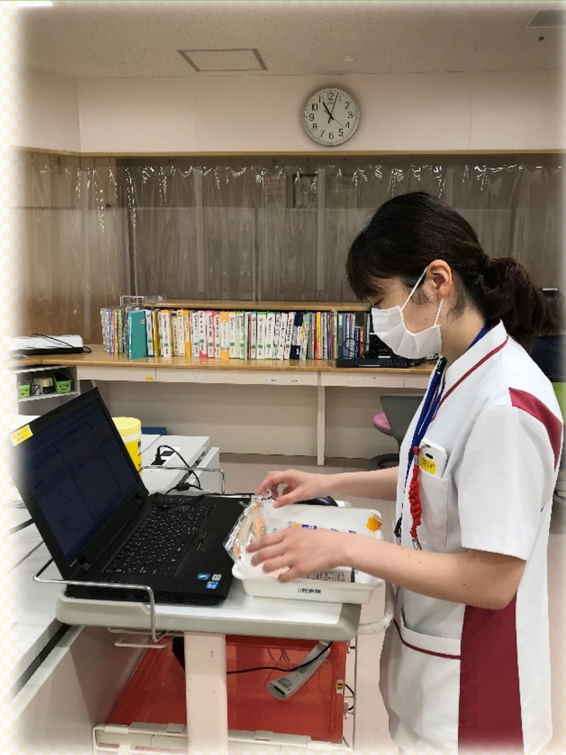
# 2階病棟

治療期からターミナル期まで、  
患者様とご家族との関わりを大切に

病床数60床の2階病棟は、主に呼吸器疾患の内科的治療を受けられる患者様が入院される病棟です。また、結核ユニット病床を併設しており、政策医療の一翼を担っています。退院後の生活を見据え、患者様を中心として、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカー等の多職種で連携を図りながら入院生活・治療を支える看護の実践を心がけています。

現在は新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行っています。

電子カルテで薬の確認中



感染防止策はバッチリ  
患者さんのケアに行ってきます



# 3階病棟

## 声にならない思いに寄り添う看護

病床数50床（内有料個室14床）の神経難病病棟です。宮崎県の神経難病の拠点病院として平成17年4月に開棟し、主に筋萎縮性側索硬化症(ALS)・パーキンソン病・脊髄小脳変性症の患者様が入院されています。看護においては、固定チームナーシングと受持ち看護師制を取り入れており患者様の安全を守りつつ個別性に応じた看護を提供しています。

神経難病専門医と看護師を中心に栄養士、ソーシャルワーカーなど多くの医療スタッフが連携して患者様に向き合うことで、患者様の生きがいや生活の質が少しでも高められるよう日々努めています。さらに在宅支援として、人工呼吸器を装着されている患者様や御家族を支援するためのレスパイト入院にも力を入れており、御家族と地域との連携も図れるよう全員で取り組んでいます。

リフトを使って車椅子に移動



点滴注射を実施中



人工呼吸器の作動状況確認中

# 4階病棟

神経・筋難病患者様が安心・安楽に療養生活が送れるように支えます

病床数50床の療養介護病棟で、筋ジストロフィー、ALS等の神経・筋難病の患者様が療養生活を送られています。患者様のほとんどが長期入院のため、医師・看護師・療養介助員・指導員・保育士が協力しチーム医療を行っています。

私たちは、患者様やご家族の皆様寄り添い、患者様中心の看護を実践しています。また、看護では固定チームナーシング、受け持ち看護師制を取り入れ、より深いコミュニケーションで患者様やご家族の要望にお応えできるように心がけています。高度な医療・看護技術が必要な病棟ですが、患者様の安全を守り、患者様が安心して過ごせる、思いやりのある看護が提供できるよう、スタッフ全員で取り組んでいます。



指先のセンサーでパソコンに伝えたいことを入力しています

カンファレンス中



季節の行事で楽しい療養生活



# 5階病棟

穏やかに安心して入院生活を送れる病棟です

病床数60床の混合病棟で、手術を主とした呼吸器外科・外科・整形外科があり、加えて学童期・思春期の小児科・心療内科、さらに内科・呼吸器内科・腫瘍内科の診療科があります。

がん治療では、がん化学療法看護認定看護師を中心に安全・確実・安楽な看護提供を目指し、また、疼痛管理や心理的サポートにおいては多職種との連携を図っています。

さらに入院患者の年齢差が大きいことから、小児科の患児には、成長に合わせた対応や入院生活への援助、高齢者には、認知症の方も多くその状況に合わせた対応を要求されます。そんな中、スタッフは、いつも明るく元気に一人ひとりの患者様に対し、常に穏やかで安心できる入院生活と看護を提供しようと日々頑張っております。



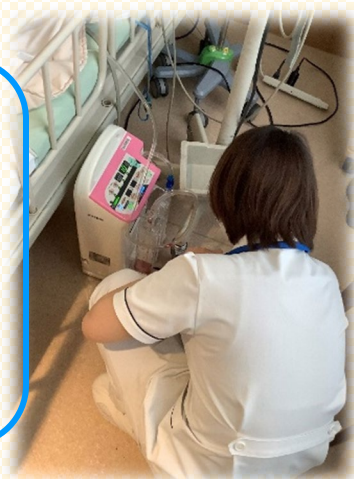
がん化学療法  
の薬の確認中

機械を使って  
点滴を実施



手術が終わった  
患者さんのお迎え

術後の観察



# 外来・中材・手術室

## 常に笑顔で患者様とご家族に寄り添う看護

当外来は、内科、呼吸器内科、腫瘍内科、外科、呼吸器外科、整形外科、神経内科、児童精神科 小児科の9診療科があります。腫瘍内科では肺がんの外来化学療法を行っています。内視鏡では、胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査、気管支鏡検査、胃瘻造設の介助を行っています。手術では、呼吸器外科は、肺がん、気胸の手術、整形外科では椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症の手術を中心に行っており、患者さまが安全、安心して受診、治療できるように、看護スタッフ一同明るい笑顔で対応をするように心がけています。



外来での抗がん剤治療



手術の様子



救急外来